

2013.7.26

公益社団法人 大阪自然環境保全協会

ボランティア保険に関するよくある質問

区分	質問	回答
対象者	保全協会の会員でないと保険対象にはならないのですか？	保全協会の会員でなくても、保全協会が主催・共催する事業・行事に参加される場合は保険対象となりますが、保全協会が主催・共催していない事業・行事に参加されても保険対象にはなりません。念のため、参加される場合は、ご自分が保険の対象になっているかどうかご確認ください。活動グループのメンバーなどで独自に行く自然学習会や旅行などは対象になりません。
	保険対象になるにはどうしたらよいのですか？	(ア) 年度初めに予め登録する方と (イ) 行事参加後に報告する方に分かれます。 (ア) 各グループのスタッフ、講座開始時の受講生の皆さんなどは、予め氏名が分かっていますので年度初めまたは講座開始時に登録します。(イ) 一方、観察会などその都度参加される一般の方が対象となります。行事などの主催グループが参加者一覧表に記入された参加者数を把握し、行事後に保全協会事務局に報告して頂くこととなります。(ア) (イ) いずれも各グループが取り纏め登録および報告します。
	幼児は参加費不要としています。この場合、保険対象になりますか？	保険対象になるのは、前項のとおり参加者一覧表に記入されているかどうかです。幼児も対象になりますが、記入されていなければ保険対象になりません。幼児についても保険対象にするため、保険料 30 円のみ徴収されているケース、また、1 家族として参加料を決められて幼児も保険対象にされているケースがあります。
保険料	保険料はいつ、いくら支払うのですか？	保険料は、保全協会が保険会社と 1 年間のおよその参加者数とその保険料の見込み概算で契約（包括契約）しており、4 月の年度初めに 1 年間の保険料を先払いし、年度末に精算します。 予め登録する方については 1 名につき年間 300 円を年度初めに支払って頂きます。都度参加される方については、1 名 1 回につき 30 円を中間決算（9 月末）又は本決算（3 月末）にまとめて支払って頂きます。いずれも、各グループが取り纏め保全協会事務局に支払います。尚、行事に参加される方の保険料の負担は、当該行事の参加費の中に保険料が含まれている場合が殆どです。
	複数のグループなどでスタッフなどを兼任している場合はどうするのですか？	ダブって保険料を支払う必要はありません。どれかのグループで登録してください。そのことを兼任している全部のグループに伝えておいてください。 スタッフで登録されている方でも、保全協会主催の他の行事などに、参加者として参加する場合は参加者保険料が必要です。
対象活動範囲	どんなものが保険対象に含まれますか？	行事に参加される方々が、行事参加中において偶然に生じた、傷害事故、賠償責任事故が対象となります。詳しくは、保険説明書の第 1 項主旨、第 2 項ボランティア行事保険対象の行事をご参照ください。

	行事への往復路、休憩中の怪我也も保険対象となりますか？	活動中のみでなく、原則、行事への往復路、休憩中の怪我也も保険対象となります。ただし、行事参加の目的と違った寄り道などは対象になりません。
	下見や打ち合わせ会合なども保険対象になりますか？	本番のみでなく、原則、下見や打ち合わせ会合なども保険対象となります。
	前項2つの質問の答えに「原則」とされていますが、対象にされないケースはどのようなことですか？	保険対象にならないものとしては、保険加入者自身の故意による事故、地震・噴火・津波などの天災による事故などです。詳しくは保険説明書の3項「本制度によるボランティア活動等行事で対象にならない事故の主なもの」をご参照ください。 また、熱中症も対象になりませんのでご注意ください。
	突然の雨で木の下に逃げこんだら落雷に打たれました。保険対象になりますか？	前項のとおり、天災による事故は保険対象にはなりません。
	活動により持病が悪化した場合は保険対象になりますか？	別途、ご相談してください。 腰痛・膝痛の悪化は対象になりません。
事故の連絡	事故があった場合、いつ連絡すれば良いのですか？	事故が起こった場合は、まず危険防止や応急措置などの安全確保を最優先にしてください。必要な場合は警察・消防・市町村などへの連絡をお願いします。 その後なるべく早くグループの代表者または事故に遭われた本人から、保全協会事務局へ状況報告して頂き、事務局の指示に従ってください。（事務局で保険対象の可否を連絡し、いずれの場合でも別途事故報告書を1週間以内に提出頂くことになります。）類似事故を再発させないために、保全協会のグループに個人情報となる項目を避けて事故情報を連絡しますので、ご理解とご協力をお願いします。
	行事中には気がつかなかったのですが帰宅後痛みが出てきて、通院などした場合はどうすればよいのですか？	ご本人からグループ代表者に連絡をしてください。同時に直接、保全協会事務局に状況報告して頂き、事務局の指示に従ってください。
保障内容	通院・入院した場合の費用の支払いと領収書は必要ですか？	通院・入院した場合、治療終了後、支払額とは関係なく、保険会社が査定した保険金（通院2千円/回・入院3千円/日）が支払われます。治療費はご自分でお支払いください。領収書提出は必要ありません。
物損	行事中に他人の備品（カメラ、双眼鏡など）を壊した場合、保険の対象になりますか？	原則は、行事参加者が第三者に損害を与え、法律上の損害賠償責任義務を負った場合は保険の対象になります。 ケースにより保険の対象になる場合とならない場合があります。まずは事故状況を事務局に報告下さい。
	自分や家族のものを壊した場合も保険対象になりますか？	前項のとおり、第三者に損害を与えた場合は保険の対象になりますが、自分や家族のものは対象になりません。
	免責金額を負担するのですか？	免責金額は1事故につき5,000円負担しなければなりません。
その他	ボランティア保険を契約しているのはどこの会社ですか？	2013年度現在、保全協会がボランティア保険を契約しているのは、三井住友海上火災保険株式会社です。

以上